

第4回堺市美原区政策会議

日時 令和7年3月18日(火) 午後7時03分～20時51分

場所 美原区役所 5階 大会議室

出席者：

【構成員】 東構成員、阿部構成員、安野構成員、高岡（照）構成員、高岡（里）構成員、
田中構成員、釣井構成員、豊岡構成員、西村構成員、堀内座長、松本構成員、
山本構成員、湯井構成員

【事務局】 小川区長、北口課長、荻野課長補佐、石野主幹、津田主幹兼企画係長

【関係課】 美原保健福祉総合センター 富田所長

美原区役所自治推進課 金田課長補佐

会議：公開会議

傍聴：傍聴者数2人

1 開会

2 会議報告

「事務局から配布資料の確認、会議の公開についての説明、傍聴人数の報告」

3 区長あいさつ

○小川区長 皆様こんばんは。美原区長の小川でございます。

構成員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、堺市美原区政策会議に御出席いただき、誠にありがとうございます。皆様には日頃から堺市政及び美原区政全般にわたり、格別の御支援・御協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて挨拶に先立ちまして、堺市功労者元堺市議会議員であり、本会議の構成員でもありました故米谷文克様におかれましては、残念ながら2月17日に御逝去されました。米谷様には、美原町会議員の頃から美原の発展に御尽力をいただき、また議員を退いてからも、地域のために御尽力をいただいております。突然の悲報に接し、心からお悔やみ申し上げます。個人の御冥福をお祈りし、1分間の黙禱をささげたいと思います。皆様、恐れ入りますが、お立ちになられる方は御起立をお願いいたします。それでは黙禱をお願いします。

(黙禱)

黙禱終わります。ありがとうございました。

それでは、会議の挨拶をさせていただきます。この美原区政策会議は、区の実情や特性に応じた政策形成を進め、特色ある区行政の実現を図るため、区民参画と区長の政策立案を支える行政運営上の会合として設置しております。

本日は、2年間の今期の最後の会議となります。会議の内容は、報告案件2件と案件2件になります。

報告案件は、美原高等学校が防災をテーマに取り組んだ総合的な探究の時間の視察結果と、美原区民意識調査です。案件は、本会議二期の振り返りと次期美原区ビジョンとなります。「美原区の未来をあなたがデザインできるとすれば」をテーマに、グループワークを行っていただきます。

内容が多数のため、構成員の皆様には、円滑な会議の進行に御協力をお願い申し上げ、御挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

4 議事

○堀内座長 みなさまこんばんは。以降、座長をさせていただきます。皆様には円滑な議事の進行に御協力をお願いいたします。

では、報告案件1「みんなで取り組む防災・減災」について、事務局から報告をお願いします。

○事務局（寺川副主査） 「みんなで取り組む防災・減災」について報告させていただきます。

12月12日に開催しました令和6年度第2回区政策会議の案件で、「みんなで取り組む防災・減災」について意見交換をしていただきました。その際に、「大阪府立美原高等学校（総合的な探究の時間）の視察について」、説明させていただきました。

高校生が、減災・防災について、自ら課題を設定し、情報の収集・整理・分析を行い、テーマごとに発表会を行いました。なお、発表準備の時間では、区政策会議の構成員6名の方に授業の視察を行っていただき、生徒へのアドバイスなど、ディスカッションをしていただきました。また、最終日には、代表グループによる発表会があり、5名の構成員の方に参加いただきました。

高校生ならではの視点、考えが参考になるかと思しますので、発表内容を一部抜粋して御紹介させていただきます。発表会では、「避難所運営せよ」が1グループ、「72時間生き延びよ」と「防災イベントを企画せよ」がそれぞれ2グループずつの計5グループが発表しました。

まず、「避難所を運営せよ」のグループですが、「避難所運営職員の負担について」をテーマに発表されました。このテーマにした理由が、避難所の運営について調べていくうちに、運営職員の負担が大きいことに気づき、一避難者としてこういう状況では安心して避難できないと思ったからだそうです。例えば、被害状況に応じた避難所の確保や、食料・救護物資などの配布、感染症対策の実施などが運営職員の負担として挙げられていました。この課題の解決策として、避難者も協力して避難所を運営することでした。具体的には、複数の家族でグループを構成し、役割を分担・シフト化すること。避難所の公式LINEを作成し、情報共有を簡易化すること。そして、朝礼・夕礼による情報共有及び引き継ぎを行うことでした。これらに取り組むことで、職員の負担軽減を図るとともに、避難者が体を動かすことで健康維持にもつながるため、運営者だけでなく避難者も協力しながら避難所運営をすることが大切であるとの発表でした。

次に、「72時間を生き延びよ」の課題については、2グループが発表しました。テーマはそれぞれ、「家の倒壊を防ぐために事前にできること」と「大地震が起きた後に72時間生き延びるための物資量」と、違った視点での発表でした。

まず、「家の倒壊を防ぐために事前にできること」をテーマにした理由は、帰る家がないと困るし、倒壊してからでは遅いので、事前にできることがないか気になったからとのこと。地震による家へのダメージを減らす

ための事前対策として、「家具の固定」、「飛散防止フィルターの貼り付け」、「制震ダンパーの設置」、「感電ブレーカーの設置」などが挙げられていました。7 2 時間生き延びるためには、生活拠点として、やはり家が必要で、その家をどのように守るかに着目した発表で、感想として、災害が発生することは仕方がないが、事前に対策することで被害を小さくできることを知れてよかったとの発表でした。

次に、もう一つのグループの「大地震が起きた後に7 2 時間生き延びるための物資量」をテーマにした理由は、必要な物資量を把握することで助かる命が増えること、また、ペットを飼っている家庭が多いと感じているためとのことでした。このグループは、具体的な家族構成及び災害が発生する季節を決め、この条件で生き延びるために必要な飲食物やペット用品など、具体的な家族構成、季節に合わせて必要な物資についての発表で、感想として、家族構成や季節によって必要な物資量が異なることが分かった。家族が多かったり、ペットがいると物資量が増えたり、置き場所も問題になることが分かったとの発表でした。

次に、「防災イベントを企画せよ」の課題についても2グループが発表しました。テーマは、「楽しく学べる体験型イベント」と「ゲームを通して防災を学ぼう」と、どちらも体験型のイベントの発表でした。

「楽しく学べる体験型イベント」をテーマにした理由として、防災というのは固くて、面白くないイメージがあるので、ゲーム性のある体験型イベントを楽しみながら学ぶイベントを企画したとのことでした。具体的なアイデアとしては、会場を海の上にして、複数のブースを設置し、全年代が楽しめるように、それぞれの年代に流行った音楽を流すとのことでした。ブースとしては、「海水を淡水に変換」、「消火体験」、「VRを活用した避難訓練」、「非常食の試食ブース」を挙げられていました。感想として、調べ学習をすることで、防災・減災について考える良いきっかけになったとのことでした。

次に、「ゲームを通して防災を学ぼう」のグループでは、避難訓練を真面目に取り組んでいる人が少ないと感じ、ゲーム感覚で行えば、楽しみながら学べると考え、このテーマにされました。企画としては、単に避難訓練をするのではなく、各グループでミッションをクリアしながらゴールを目指すゲーム性を持たせて行うとのことでした。放送で流されるミッションに素早くかつ正確に、グループで協力しながらクリアしていくことで、判断力やリーダーシップ、フォロワーシップなどの能力を培い、また体験することで、実際に災害に遭ったときに冷静に対応できるとの発表でした。感想として、自分たちを含めた周りの同年代は、災害を経験したことがないため、いざとなったら誰かが助けてくれるだろうと受け身になっていると感じる。また自分の命を守るため、また大切な人を失わないために、防災についての知識を学ぶ必要があると学んだとのことでした。

生徒の皆さんに、授業終了後にアンケートにも御協力いただきました。防災を学んだ後の生徒の素直な意見となっております。アンケートにつきましては本日配付しておりますので、お時間があるときに御覧いただければと思います。

「みんなで取り組む防災・減災」の報告については、以上になります。

○堀内座長 ありがとうございました。

それでは、5名の構成員が実際に授業の視察をしていただいたと聞いております。構成員の皆様、一言ずつ感想をいただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

まず、阿部構成員から、感想をお願いいたします。

○阿部構成員　まず驚いたって言うと失礼ですが、生徒の皆さんのお行儀が非常によかったです。どの子どもみんな、目を見て、しっかりと挨拶をしてくださり、それがまず感激でした。そして、生徒たちがここまで一生懸命考え頑張って取り組んできたことを、学校の中だけに置いておくのはちょっともったいないと思います。美原高校の生徒たちはこういうことを考え取り組んだということを、美原区内でも知らせていただけるような方法があればいいと思いました。

○堀内座長　ありがとうございます。引き続きまして、高岡照美構成員、お願いいたします。

○高岡照美構成員　私も発表を拝見して、すごく感動しました。生徒達が発表の準備をしている授業にも視察させていただきましたが、どの生徒も本当に真面目で、こちらの意見・考えを伝えると、「そういうところもあるなと思ってんねん」と素直に同意してくれました。発表では、災害を経験したことがないにもかかわらず、こういう対応、対策をしたほうが良いのではないかなど発表されており感心しました。防災に対して、美原の生徒達がしっかり学んでおり、高齢者もしっかり頑張らないといけないと、本当に感激して帰ってきました。

○堀内座長　高岡理恵構成員お願いいたします。

○高岡理恵構成員　本当に素直な生徒さんばかりで、発表も非常に良かったです。ただ、生徒達はもっといろんなことに興味を持って取り組めると思うので、もう少しこの授業の時間が長ければ良いなと思いました。最後の発表では、短い時間でしっかりまとめられており、若い人の力っていうのはすばらしいなと思いました。

あと、地域には、阪神大震災などの災害を経験された方がおられたと思うので、実際に経験した方の生の声を生徒達に聞かせてあげられたら、いい体験になったのではないかなと思いました。

○堀内座長　次は、田中副座長お願いいたします。

○田中副座長　私が一番関心を持ったのは、隣近所が助け合うとか、避難所運営でも、避難者同士の連携が大切と発表されたことです。私も常日頃から、人と人とのつながりが大事で、自治会の存在、隣近所、向こう三軒両隣との連携が大事だとお伝えしております。その話を3月の防災訓練や地区の総会でも申し上げました。高校2年生の発表は、すごく新鮮で、高校2年生でそこまで考えられるのかと感心しました。

○堀内座長　ありがとうございます。最後に松本構成員、お願いいたします。

○松本構成員　私は企画の立案と発表の2つの授業に参加させていただきました。今回、美原高校の校長や先生方がすごい準備をされて、実施されていたことに身をもって感じたところでございます。また、視察に行かせていただく機会をいただきまして、ありがとうございます。

まず、企画のところを感じたのですが、生徒たちがすごく素直で、会話をしている中で出てきたアドバイスや意見を素直に反映されていたところがあり、その反映されたものがしっかりと発表にも生かされていたというところを見ながら感じておりました。他の方もおっしゃられておりましたが、考えたアイデアをさらにブラッシュアップしていくために、地域の方々と交流したり、ブラッシュアップしたものを実際に地域の方々にお伝えする機会があれば、生徒の学びが、さらによりよくなっていくのではないかなと思いました。

○堀内座長　ありがとうございました。ほかに質問や感想はありますか。

今、5名の構成員から感想をお伺いしましたが、私が思ったのが、総合的な探究の時間というのは学校の授業であるため時間が限られると思います。ただ、この経験は学生たちが社会に出たときに、あるいは今

学生の中に思考を深め、主体的に、問題解決に取り組むきっかけになると思います。参加された構成員もそれ以外の方も、若者を温かく見守ってあげられれば良いかなと思います。

それでは、続いて報告案件2「美原区民意識調査の結果報告」について、事務局から報告お願いいたします。

○奥田企画総務課 それでは、「美原区民意識調査の結果報告」について報告いたします。

1 ページ目を御覧ください。調査の目的は、区域や地域活動の現状、区民の意識等を調査し、今後の区政運営に役立てるため実施したものです。

調査の回収状況は、配布数2,500通中1,224通の回答がありました。

2 ページから6 ページまでは、性別、年齢、住んでいる小学校区など、アンケートに回答いただいた方の属性情報です。

記載のとおり、各質問では、若者、夫婦のみ、育児期、単身高齢者などライフサイクル別に集計を行っています。

7 ページ以降では、区民の活動状況、美原区に関する意識、在留意識、自治会に関する事など全28問の質問で構成されています。

全質問に共通している表の見方を御説明いたします。7 ページを御覧ください。単位は全て%（パーセント）です。棒グラフは、左側が前回の平成30年度の結果で、右側の濃い棒グラフが、今回実施した結果です。表の数字は全体の数字と、性別×年代別、住んでいる小学校区別、居住年数別、ライフサイクル別の属性にそれぞれ質問と掛け合わせて、属性別に傾向が分かるように集計いたしました。表の中で、全体より10ポイント以上高い数字には濃い網かけ、全体より5ポイント以上高い数字には薄い網かけをしています。ただし、属性別の回答者数が30未満の場合は網かけをしていません。

それでは具体的に何問か抜粋して御説明いたします。

まず7ページの問7「あなたは自治会や子供会、老人会、各種サークル等に参加して、地域の方と一緒に活動に参加しているか」では、性別×年代別において、女性の60歳から64歳が「している」と回答した割合の52.6%は、全体の「している」の回答率37.8%より10%以上高いため濃い網かけをしています。

続きまして、30、31ページを御覧ください。問17では、「今後重点的に推進すべきと考えるもの」を聞いています。この質問では、令和6年度第1回区政策会議でいただいた御意見を反映しており、追加した項目は、生活道路、通学道路の整備など、米印がついた全5項目です。これらは平成30年度の調査結果は表示されていません。この質問では、「バス等の公共交通機関の充実」の回答割合が最も高く、次いで「生活道路・通学道路の整備」が高くなっています。

続きまして、33ページを御覧ください。問18では、「美原区のどんなところに愛着や誇りを感じているか」を聞いています。この質問では、「静かで心が安らぐ」の回答割合が最も高く、次いで「高層マンションやビルが少ない」と、「自然環境・田畑・緑が豊かである」が高くなっています。ライフサイクル別で見ると、育児期と教育期では、「大型商業施設が集積されている」の割合が3割と高くなっています。

続きまして、35ページを御覧ください。問19では、「どのようなものが地域の良さを損なっていると感じるか」

を聞いています。この質問では、「狭く複雑な生活道路」の割合が最も高く、次いで、「雑草の茂った空き地」が高くなっています。平成30年度調査と比べると、「商店街や商業施設の少なさ」が22.1ポイント減少しています。

以上が、報告書の見方と一部抜粋した質問の御説明です。報告書の量が多いので、資料はお持ち帰りいただき、ご覧いただければと思います。また、案件1のグループワークでもぜひ御活用ください。御説明は以上です。

○堀内座長 説明ありがとうございました。非常にページ数が多いので、今この場で質問と言われても難しいかもしれませんが、何か質問等ありますでしょうか。

では、次に進みます。案件1「美原区政策会議第二期の振り返り及び次期美原区ビジョンについて」、事務局から説明をお願いいたします。

○北口課長 それでは御説明させていただきます。

まず、美原区政策会議第二期の振り返りについて御説明させていただきます。

資料2を御覧ください。こちらは令和5・6年度区政策会議の第二期分をまとめた資料になります。これまでの会議で御意見をいただいたことや、またその中で意見を反映することができた事業などについて記載しております。後半部分などはまだ作業中ですが、振り返りの参考になると思い本日お持ちいたしました。資料3ですが、こちらは、資料2の4ページ目「地域でできるつながる取組について」の、堺市・美原町合併20周年の取組の一覧となっています。基本的な見方としては、日にちと事業名、主催、参加人数等の開催した結果が入っています。その右端に区政策会議の皆様からいただいた御意見を基に開催できた事業については御意見を記載しております。

これらを参考に、第二期の会議の良かった点や改善すべき点など、会議の運営や内容について御意見いただきたいと考えております。つきましては資料4をファックスかメールにて、後日御意見をいただきたいと考えています。いただいた御意見を踏まえまして、資料2の令和5年・6年度の会議のまとめとさせていただきますと考えております。5月頃までにはこの案を作成し、皆様に通知させていただきますので、御確認いただき、御意見いただけたらと思います。

続きまして、ここからグループワークに移らせていただきます。

現在、美原区では美原区ビジョン2025が今年で計画期間が終了するため、次期ビジョンについて、現在改定作業を行っております。その改定に当たりまして、皆様に参考となる御意見をいただけたらと考えております。

グループワークの案件1のテーマですが、美原区の未来を皆さんがデザインできるとすれば、どんな美原区にしたいか御意見いただきたいと考えております。

例えば、堺市のグランドデザイン2040での美原区の将来イメージは、「立地ポテンシャルを活かし、309号等の広域幹線道路沿道等への企業進出により、人やものが集まる活気あるエリアへ」となっております。また、美原区ビジョン2025では10年後の将来像として「みんなの架け橋になり、笑顔があふれるまち美原～さあ、一緒に挑戦しよう～」と示しております。

これらを参考にして、皆様には美原区の未来を自由に想像していただき、御意見をいただければと思います。そして、その未来を実現するためにはどういった取組が必要かも合わせて御意見いただければと思います。

今回のファシリテーターは、東構成員様、高岡理恵構成員様、松本構成員様の御3名をお願いしております。

まとめ作業も入れまして、40分程度を予定しています。

まとめやすくするために、発言する際には付箋に御記入いただき、模造紙に貼っていただきますようお願いいたします。最後にそれを見ながら、皆さんで模造紙の上で整理をいただければと思います。なお、グループで意見を出し合っ、発表いただきますが、時間が足りなかったり、後日思いついたことなどは、先ほどの振り返りと同様に、3月中をめどにメールかファクスなどで御意見いただければと思います。

それでは、グループワークを開始してください。30分経過しましたら整理作業に入ってください。

(グループ討議)

- 北口課長 お時間になりました。堀内座長よろしく願いいたします。
- 堀内座長 では順番に発表していただきます。1グループ10分程度で発表お願いいたします。ではまず、松本構成員のグループから、発表をお願いします。
- 松本構成員 全体として自分たちがどういふまちが良いのか、どういふ取組をしたら良いのかってところで議論をしました。様々な意見が出ましたが、子育てに関することや、美原区をもっと自慢できるまちにしたなど、訪れたいまちという意見が多く出ていました。その中から、こいふ取組を具体的に実施するために、「美原応援団」といふ会みたいなのを設立して、美原区でいふいふ取組されている方の情報の発信や、こいふ取組を支援したいという方向けの、「美原応援サイト」みたいなのを運営していけば良いのではないかという意見がでました。そのサイトでは、様々な取組や、支援内容を周知し、そこには色々な資源を持つ個人・企業の団体が参加をして、応援したい取組に支援ができるよなweb上でのプラットフォームができれば良いと意見がでました。また、何かやってみたい、実現したいと思ったときに、資金も大切になってくるので、その資金を個人や企業などから支援を集めて、住民がやってみたいい取組に資金を投じていこい美原ファンドの設立もできれば良いなという意見も出ました。

実際に、美原西中学校で資格制度があり、生徒が資格を取りたいと言ったときに、援助があるのでしょうか。

- 西村構成員 保護者や卒業生からの積立分から資金援助を行っている。
- 松本構成員 資金援助して、生徒の資格取得をサポートができるみたいな、その発展版みたいな形で、こいふ美原のこどもたちのためにもなるし、自慢できるまちのために、美原区を良くするために活動をする方々に対して、資金が提供できるよな仕組みができれば面白いのではないかと意見も出ました。

そこで、その団体を設立したとして、一つの活動として子育てしやすいまちをつくろいという人たちが現れたときに、こどもが笑顔で過ごせるまちとか、こどもたちにこいふサポート体制があつたらいいよねとか、こいふ選択

肢を増やしたほうがいいよねというものも、そこの応援団の方々に協力してもらって、その活動をやらせてもらう。もしくは、訪れたいなるまち美原みたいなところで、美原といえばこれが有名ですよって言われるぐらい魅力のある取組を支援していくとか、そういったところにこの美原応援団が繋がればいいよねってような話になりました。

これが実現できれば、美原区のビジョン2025の基本理念である誰一人取り残さない決意とか、魅力的で訪れたいなる、やってみたいが実現できるにもつながるのではないかという意見交換ができました。以上です。

(拍手)

○堀内座長 ありがとうございました。続きまして、高岡理恵構成員のグループ発表をお願いします。

○高岡理恵構成員 私たちのグループは、まず美原の魅力は、どこかほっとするところとのどかなところかなと思います。また、都会田舎という感じで、車で30分行けば、緑の山のほうにも、市内のほうにも行けるっていう立地の良さも魅力だと意見がありました。

美原区は、古代米がすごく有名になっていると思いますが、堺市の中学校で給食が始まると思いますが、そこで美原の古代米を使っていたらという意見が出ました。

あと、求められているところは、若い方の力で、農芸高校や地域の大学の若い人たちから、若い人が暮らしたいまちはどういものなのか意見を聞きたいと思います。また、外国人の方もたくさん美原に転入していると思うので、その外国人の方とも地域の方とつながりが持てたらいいなと思います。

美原といえば、今らぼーとや防災センターが注目されていると思いますが、せっかく美原高校で防災について授業をされたので、防災センターでその発表会が開催できたらいいのではないかと意見が出ました。

消防に関しては、消防団があるのは堺市の中で美原区だけだそうです。せっかく防災センターがあるので、レスキュー訓練の見学会など、これからの子どもたちの職業選びにつながっていくいい機会ではないと思います。

最大の夢は、大阪メトロが美原につながって、その駅に行けるようにモノレールもできるなど、夢は大きくとの意見がでました。

あと、昔ウッドフェアというイベントがありまして、そのウッドフェアは、大阪木材団地で家具の販売会などがありましたので、その復活もできたらいいのになという意見も出ました。

最後に、それを全て全部つなげるためには、やはりマッチングが必要ではないか、未来の美原のために、人と地域のつながりができるマッチングっていうものがあれば良いのではないかと意見が出ました。以上です。

(拍手)

○堀内座長 ありがとうございました。続きまして、東構成員のグループの発表をお願いします。

○東構成員 まず美原区ビジョンについてですが、基本的には継続していく、ベースは継続していくほうがいいとの意見が出ました。そして、今やっているものの延長線上でいろんなことをやっていくという意見が出ました。

その次に美原が合併するときの話として、ここの地域は、堺の東の玄関口として、近隣地域との関わりなどもきちんと大切にしながら、また美原の持っている伝統文化についても大切にしていけることが大事だろうという前提とした意見がありました。その上で、まず先ほどから出ていますように交通機関をどのように便利にしていけばいいかということで、一つ出たのが、LR T、ライトレールでした。平たく言えば、阪堺電車、チン電の近代

的なものです。そういったもので人を呼び込むことも必要ではという意見が出ました。

その次に出ましたのが、やはり人を呼び込んでも地域に魅力がなければ定着しないし、愛着も湧かないのではないかという意見もありました。昔の美原では、小さいときに障害者施設との交流をしていました。子どもたちが障害者にも優しく育っていたという話がありました。やはり一昔前の教育から少しずつ変わってきていますが、人としてあり、人に優しい、そういう地域であった。また、そういう地域文化をまた作り発展させていくことで、集まってきた人々に対して地域の魅力を周知していくことが大切ではないかという意見がありました。

また、人と人とのつながりで、やはり挨拶が大切であると、そういうところがきちんと隣近所の人々もできるように、まちづくりというのができないだろうかという意見もありました。そういうことも含めまして、子どもたちがしっかりと育つ地域になっていく、そういう子どもが育つ美原として、地域を育てていくということが大切ではないかという意見がありました。

自分の生活への不安を周りに知ってもらって、周りの人に助けを求めることができる、お互い助け合いする共助という部分もしっかりと地域で支えていく、地域で様々な状況の弱い人を支えていける、そういう社会というか、地域であってほしいなという意見がありました。また、それに関連して、昨今自治会の加入率が非常に低い。これはどこの地域でも課題で、例えば新しい住宅地ができて、そこの方々はなかなか自治会に加入しないようになってきているとのこと。ただそれを放置するのではなくて、地域として、地域の良い文化やつながりを残していくためには、どうすれば自治会に加入してもらえるのか、また、地域のよさを分かってもらうかを考えていくことが大切だと思います。例えば今ある資源として、美原の古代米を活用して、イベントを開催することで区内外の人が集まって交流する場を作るなど、そういう美原独自の今ある資源をもっと活性化させて、地域交流のきっかけにしていくとともに、これをもっと広げていくところが、今後大切ではないかという意見が出ました。

最後になりましたが、地域の人々が、人任せではなくて、住んでいる地域は自分たちが良くしていくのだと、自分たちが守っていくのだと、そういう意識をどんどん醸成していく必要があるだろうという意見がありました。挨拶にしる、いろんな人の助け合いにしる、自分たちがしっかりと頑張っていくと周りにもいい影響が出て、最後は自分のところに良いものが返ってくる。そういう良い地域になっていくと、来た人もどんどん美原に定着して、良い地域になっていくという意見がでました。

そして、そういう地域にしていくには、リーダーが大切であるという話が出まして、当然賛同していただける方はたくさんおられると思いますが、どのようにリーダーを出して、その人のもと結集して、地域として取り組んでいくかが今後の課題と思います。以上です。

(拍手)

○堀内座長 ありがとうございます。ただいま3つのグループに分かれて、話し合った内容について概要を発表していただきました。それぞれのグループの発表内容をお聞ききして、さらに何か御意見などありましたらお願いいたします。

では、今日の会議が今期最後の会議となりますので、本日の会議内容も含めて、2年間を通しての御意見や、感想などを御発言いただきたいと思います。特にこれまで若者の意見を聞きたいという意見も多くあ

たと思いますので、若手の構成員の方に御意見をお聞きしたいと思いますよろしくお願いします。

それでは、山本構成員のからお願いいたします。

- 山本構成員 会議全体を通して、いろいろな団体や企業の方の地域のためにやっている活動などを知ることができて、とてもいい経験になりました。第1期の区政策会議から参加させていただいておりますが、今期のほうがより会議の意見を反映していただいていると思うことが多く、とてもうれしく思います。今年は万博も開催されますので、美原区もより一層盛り上げていってほしいなと思います。以上です。

(拍手)

- 堀内座長 ありがとうございます。続きまして、西村構成員、お願いいたします。
- 西村構成員 2年間参加して、私はふだんこども食堂を運営しているので、こどものことばかり日頃は考えて暮らしているのですが、区政策会議に参加させていただいて、全然知らなかった美原の一面とか、いろんな企業さんの取組とか、美原区ビジョンとか、本当にたくさんを知れて、それをまた自分の活動に持って帰って、参考にさせていただく面も多かったので、2年間とても実りのあるものになったと思います。どうもありがとうございました。

(拍手)

- 堀内座長 ありがとうございます。続きまして、釣井構成員、お願いいたします。
- 釣井構成員 私もこの2年間、こんなに美原区のことについて考えたことが初めてで、美原区で様々な地域活動をされる方たちと関わることができて、すごくいい経験になりました。やっぱりこどもを育てていく上で、この20年ほど子育てしていますが、すごく環境も変わってきましたし、こういう場があるということも子どもたちにとっても何か今後につながることだなと思いますので、携われたことにすごく感謝しております。ありがとうございました。

(拍手)

- 堀内座長 ありがとうございます。今日は貴重な意見たくさん出たと思います。最後、私から一言申し上げさせていただくと、この会議の場でふだん出会うことがないかもしれない、あるいはまちで会わない人たちがこうやって意見を交わし合うわけで、こういった機会が大事だと思います。

これから、皆さんもそれぞれ所属する会社や、いろんな地域団体があると思いますが、ぜひ今日グループワークで出たことをやっていただければ、さらにそれを地域に広げていただければ、若い人たちに美原の良さであったり、将来の希望が伝わっていくと思います。引き続き、皆様の地域の中でいろいろお話しいただければと思っております。以上です。

では、案件2、その他についてですけども、本日は特にないようですので、事務局、それでよろしいですか。

- 北口課長 ありがとうございます。先ほどのグループワークで皆さんにお話しいただきましたが、言い忘れたことや追加の意見などありましたら、振り返りとともにメール等でいただけたら、ありがたく存じます。
- 堀内座長 ありがとうございます。では、本日の案件と報告はこれで全て終了しました。
事務局に引き継ぎたいと思います。
- 石野企画総務課 堀内座長、議事進行ありがとうございました。

それでは、区長から一言御挨拶させていただきます。

- 小川区長 皆様長時間にわたりまして、貴重な御意見をたくさんいただき、ありがとうございました。

私も、美原高校のプレゼン発表を見せていただきました。未体験の防災に関して、本当に一生懸命考えくださり、想像力いっぱい働かせて、高校生ならではの貴重な意見を聞かせていただきまして、私も勉強になりました。

私は、昨年の4月に着任してから、この区政策会議で教わることもたくさんありまして、本当に私自身が勉強になったと思っております。

来年度、美原区ビジョンの改定の年を迎えますので、皆様からいただきました貴重なご意見を参考にさせていただきますまして、より良いものを作りたいと思っております。本日はありがとうございました。

- 石野企画総務課 どうもありがとうございます。

それでは最後になりましたが、美原の古代米スタンプラリーのチラシをお配りしております。先ほどのグループワークのほうでも、美原の魅力発信で古代米というキーワードがあったかと思いますが、美原の古代米プロダクツさんがスタンプラリーを3月31日まで実施しておられます。

湯井構成員、何か補足ありましたら、一言お願いします。

- 湯井構成員 このたび、堺市と美原町合併20周年記念ということで、何か古代米プロダクツとして企画できないかと打合せしまして、長年美原区内の事業所さんに販売確保など協力してくださっていることに対する、お礼の意味も込めて、スタンプラリーを開催することになりました。3月3日から3月31日と短い期間ですが、古代米を含む商品を500円以上買っていただいたら、スタンプ1つで4つのスタンプを集めたら、抽せん券と古代米をプレゼントします。また、抽選で10名の方に、対象店舗で使える3,000円の商品券が当たります。もしよろしければ、皆さんもスタンプラリーに参加していただけたらと思います。以上です、よろしく願います。

(拍手)

- 石野企画総務課 どうもありがとうございます。

以上をもちまして、令和6年度第4回堺市美原区政策会議を閉会いたします。どうも本日はありがとうございました。

(午後8時51分 閉会)